

放射線安全フォーラム
第90回放射線防護研究会
「医療における放射線の可視化について」

開催趣旨

放射線の可視化は、福島復興支援に向けた放射線モニタの開発や、福島第一原子力発電所の廃炉作業に向けた放射能汚染の可視化など、放射線防護策を講じるためのよい情報源となっている。第81回放射線防護研究会では原子力関連の放射線可視化カメラについて討論した。今回は医療における放射線の可視化をテーマに、散乱線のピンホールカメラによる可視化、散乱線のVR可視化、核医学検査でのPET薬剤とSPECT薬剤の同時測定を可能にする医療用コンピュータによるイメージングなど、これらの技術の現状と利用について専門家からご紹介いただき、放射線防護の観点を加えて、今後の見通し、課題などについて討論する。

記

1. 日時、場所

日 時 : 2026年2月21日(土)13:30~17:00
場 所 : ZOOM Webinar 及び株式会社千代田テクノル本社2階会議室によるハイブリッド開催
※感染拡大防止の対策として現地参加は先着20名様に絞らせていただきます。
※参加される方は参加フォーマットにて「WEB参加」「現地参加」いずれかを選択願います。

2. プログラム

司 会 : 工藤 幸清 氏 放射線安全フォーラム 企画委員(弘前大学 大学院保健学研究科 教授)

講 演 :

- (1) 「医療現場の散乱線のピンホールカメラによる可視化」
小山内暢 氏 弘前大学大学院 保健学研究科
- (2) 「医療放射線のクロスリアリティ(XR)による可視化」
藤淵俊王 氏 九州大学大学院 医学研究院(放射線安全フォーラム 理事)
- (3) 「医用イメージング技術の異分野への発展、植物RIイメージング研究」※2026年2月5日:議題名を修正。
河地有木 氏 量子科学技術研究開発機構

総合討論

※ 本研究会での、録画並びに録音等については一切禁止いたします。

3. 参 加 費:(放射線安全フォーラム会員は無料)

一 般:3,000円

※昨今の物価上昇や運営費等の増加に伴い、誠に心苦しい限りではございますが、参加費を2,000円から3,000円へ改定させていただく運びとなりましたので、予めご了承ください。

学 生:無料(HP申込時に学校名、学部・学科、大学院の場合、研究科・専攻、下一桁を除いた学生番号を記入してください。)

2月13日(金)までに、以下の口座に振込をお願いします。

振込名義が申込者と異なる場合は、必ず振込依頼人欄に申込者の名前を入力してください。

<振込先口座> 三菱UFJ銀行 虎ノ門支店

普通預金口座 0054856 特定非営利活動法人放射線安全フォーラム

4. 参加申込み:ホームページよりお申込み下さい。 <https://www.rsf.or.jp>

事前登録制です。

参加される方は必ず受付フォームより参加申込みをお願いいたします。上記サイトより申し込みされていない方、参加申し込みのない方は、当日参加できない可能性もございます。なお、定員に達した後、または、受付期間終了後の参加お問い合わせは、事務局までお願いします。

5. 申込期日:2026年2月13日(金)17:00

6. 問 合 せ: NPO 放射線安全フォーラム事務局 mail@rsf.or.jp

[懇親会] プログラム終了後、現地参加者が参加可能な懇親会を、17時30分から2時間程度を予定しております。併せてご参加いただければ幸いです。懇親会参加費は別途5,000円です。(支払い方法は上記の口座振り込みと同様です。)

※昨今の物価上昇や運営費等の増加に伴い、懇親会参加費を5,000円とさせていただく運びとなりましたので、予めご了承ください。

以上